先週の幼稚園
～お餅つき特集号～

先週土曜日に行われた冬のこどもふれあい会では、小学校・幼稚園のたくさん保護者の方、また、地域の方のご協力のもと、貴重な「お餅つき」の経験をすることができました。今日に向けて、長い間、そして本日は朝早くからお手伝いをしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

お餅付きは年長組と年中組が行い、年少組はつき上がってすぐの、まだ温かなお餅を触らせてもらい、柔らかさや伸びに喜んだり驚いたりしていました。

保護者の方にお餅のつき方を教えていただき、スタートです。

「よいしょ！」

幼稚園の友達やお手伝いの保護者の方の応援を受けて、お餅をつきました。

年長組は、小学校５年生にお手伝いをしてもらい、大きな杵にも挑戦しました。

まだ温かさの残る、つきたてのお餅を触らせてもらいました。
感触のよさに、なかなかその場を離れられません。

「きっと年少組の子どもたちもやりたいだろうな…」と担任が予想し、金曜日までに準備しておいたお手製の杵と臼。
早速部屋に戻ってから、お餅つきごっこの始まりです。

年長組は、つき上がったお餅を使って、『花餅』づくりに挑戦しました。
今、取り組んでいるつるし雛の飾りとして加わります。

保護者の方がしてくださった片付けのひとこまです。
餅米やお餅が側溝に流れて詰まらないようにするため、水を流す際にザルを通しています。
たくさんのお手伝い、そして細やかなお気遣いをありがとうございました。